

ミンク岡山情報

平成18年9月27日発行
中国民放クラブ 岡山支部

▲ ミンク岡山の会員 140名を越える

平成18年度（4月以降）の新加入者

枝松柳一さん（RSK） 野山真太郎さん（RSK）

山田伸二さん（RSK） 玉木邦夫さん（RSK）

中山美保さん（RSK） 繁定満孝さん（RSK）

退会者 2名

草地一義さん（CX）老齢のため 黒崎竈之さん（RSK）死去のため

これにより岡山支部の会員は141名になりました。

136名の出身別内訳・・・RSK 123、OHK 10、山陽映画 4

RNC 2、KSB 2、

▲ 事務局担当理事の交代

長年にわたり事務局担当理事として岡山支部を支えて来た田淵守さんが辞任され、あとを杉原尚示さんが引き継ぐことになりました。理事交代については5月の中国民放クラブ総会で承認されました。なお田淵さんには支部顧問として今後もご支援をお願いすることになりました。

▲ 今年度のミンク岡山イベント参加者数（4月～8月）

月例イベント

パソコン勉強会 4月11名、5月15名、6月12名、7月14名、8月夏休み

放水会 4月休み、5月25名、6月26名、7月16名、8月22名

春のイベント

4月 5日 歩こう会～京都・哲学の道～ 新幹線利用組 7名

7日 同上 観光バス利用組 7名

26日 岡山支部総会・懇親会（於ピュアリティまきび） 69名

5月 2日 園芸同好会 中西幹事よりの野菜苗無料配布 12名

23日 写真同好会 春の撮影会～後楽園を撮る～ 25名

26日 第55回ゴルフコンペ（岡山GC桃の里コース） 39名

爽やかな秋です。同好会活動に参加してリフレッシュを！

今年も各同好会それぞれに幹事熟慮のプランが用意されています。秋空のもと民放OBならではの集いにご参加ください。

各イベントの問い合わせ、参加申し込みは、幹事宛に電話、e-mail、はがきなど、いずれでも結構です。

平成 18 年 中国民放クラブ 広島大会

昨年は岡山に集いましたが、今年は広島大会です。大勢の参加で他支部会員との懇親、交流を深めてください。(案内は全員へ郵送済み)

11月16日(木) 17時～19時 リーガロイヤルホテル広島

11月17日(金) ゴルフ(広島カンツリー倶楽部西条コース)

観光(呉市「大和ミュージアム」他)

* 早めに出欠返信はがきを出してください。しめきりは10月10日です。

同好会情報

直島で(秋の写真撮影会・歩こう会)

◎民放クラブ岡山支部「写真同好会・歩こう会」合同

◎日程:平成18年10月31日(火)

◎行く先:直島(香川県直島町)

◎当日予定

△ 集合:9:20 メディアコム駐車場

△ 出発:9:30 マイカーに分乗(一台3～4名)

△ 宇野港近辺の駐車場(JR宇野駅裏ポートパーキングウの)

10:40頃到着予定(駐車料1日500円)

△ フェリー 11:00発(約20分で本村港へ到着)

△ 上陸後本村(HONMURA)界隈を散策後(途中昼食を挿み)

ベネッセアートサイトへ向かう(町営バス利用可)

※直島での行動については、実施日までに詳細を検討しておきます。

以上

※なお、この件についてのお問い合わせは、

写真同好会幹事 井垣武彦 (086)293-0846

歩こう会幹事 松田通男 (086)277-9870

(注)留守の際は留守電をお願いします。

タイ・チェンマイ旅行のお誘い

旅の会幹事代行安田了三

タイ王国チェンマイで優雅なロングステイを送っているRSK-OB高屋盈氏夫妻を訪ねる民クの旅行計画をお知らせします。

メール所有の方々には第一案を見て頂きましたがこのたび第二案を作成しました。

現地高屋氏の全面的な協力で9日または10日間の楽しい旅行をしませんか？
現地の季節は乾季の終わりで最高気温も約30度、園芸博や花祭りなど自然が美しい時期です。
費用は岡山発着旅行保険込み約23万円。★4の朝食付き高級ホテルに原則として1人一部屋。
観光費と食費も含んでいます。
9月1日現在で11人の方から参加の意向を伺っています。ご夫婦、女性も大歓迎です。
10月15日締め切りといたしますので早めに安田了三宛メールか電話でご連絡ください。

タイ・チェンマイ高屋氏訪問旅行企画書(第二案)

第一日 1/27(土)

岡山発→KIX(関空)→BKK(バンコク)乗り継ぎ→CNX(チェンマイ)チェンマイ市泊

第二日 1/28(日)

チェンマイ市内観光、社寺拝観、ドイステープ、高屋邸訪問等、チェンマイ市泊

第三日 1/29(月)

国際園芸博覧会見物、ナイトサファリ見物等、チェンマイ市泊

第四日 1/30(火)

午前中移動、チェンライ近郊観光、ゴールデンライアングル観光等、チェンライ市泊

第五日 1/31(水)

ドイアンカーン観光 ミャンマー国境近くの高原散策、首長族集落観光等、ドイアンカーン泊

第六日 2/01(木)

午前中はバス移動、午後自由行動、夜ナイトバザール見物等 チェンマイ市泊

第七日 2/02(金)

エレファントショー見物、ラン園見物、ポーサーン(傘と陶器の町)見物 チェンマイ市泊

第八日 2/03(土)

チェンマイ花祭り見物等 チェンマイ市泊 ゴルフ希望者はこの日はOK

第九日 2/04(日)

早朝チェンマイ発 CNX→BKK 乗り継ぎ→KIX→岡山着(夜)

飛行機の都合で

第九日 2/04(日)自由行動 夜チェンマイ発 CNX→BKK 乗り継ぎ

第十日 2/05(月)早朝 KIX→岡山着

高屋氏注

この他、カントークショウ(北タイ料理を食べながらタイ舞踏を見る)サイモンショウ(おかまショー)、タイマサージ体験(女性にはスパ)などはタイを代表するものなので是非入れたいと思っています。第三案で盛り込みます。

また30万人の都市には似つかわしくない、立派なショッピングモールや大スーパーも見学していただければと思っています。ゴルフの希望があれば、2/03(土)は可能です。

ミンク岡山ゴルフ会の現況とお知らせ

ミンク岡山ゴルフ会の会員は現在59名ですが、都合により休止されている方が1名、過去1年以上参加されていない方が3名、入会はしたが、仕事の都合で参加していない方が2名です。第56回大会の案内をさし上げたのは58名でしたが、次回より整理したいと思いますので、案内不要の方もしくは退会される方は事務局までご連絡下さい。

平成18年度のコンペの予定は下記の通りです。

☆中国民放クラブ広島大会 エクスカーションゴルフコンペ
平成18年11月17日(金) コース:広島カンツリー倶楽部
西条コース

[広島より案内がありますので奮ってご参加下さい10月10日締め切りです]

☆第57回ミンク岡山ゴルフコンペ
平成18年12月8日(金) コース:未定

☆第58回ミンク岡山ゴルフコンペ
平成19年3月23日(金) コース:未定

※第57回と58回コンペの希望コースがあればお知らせ下さい。



ミンク岡山ゴルフ会

会長・長岡康祐

幹事・秋山孝一・守安英士・富岡謙二

事務局・富山捷彦 Tel&Fax. 086-296-8115

E-mail. tomiyama@mqb.biglobe.ne.jp

写真同好会からお知らせ

- ◎. 「第17回ホームページ作品展」9月度追加作品の登録作業が完了しました。
今回は12人からの応募が有り、作品総数19点(内、組写真:4組)になりました。
下記のアドレスをクリックして是非ご覧下さい。

中国民放クラブ岡山支部ホームページアドレス

<http://mink-okayama.web.infoseek.co.jp/>

- ◎. この秋の「中国民放クラブ広島大会」において、写真展が開催されると聞いています。
岡山支部の写真同好会からは、10月度追加作品も含めてそれ以前に応募された
作品の中からプリントアウトしたものを1人1点(組写真も1点とします)出展したいと
思っています。

特に出展ご希望の作品がありましたら、幹事までご連絡下さい。

連絡がない場合は、幹事の方で選ばせて貰いますのでご了承下さい。

写真同好会幹事

井垣 武彦 (Igaki Takehiko)

t-igaki@mth.biglobe.ne.jp

TEL : 086-293-0846

インターネット・メール

(パソコンを始めた会員の皆様へ)

民ク・岡山ホームページでは各同好会の案内・報告をはじめ、旅行記やボランティア報告、
会員動向などを、写真を多く取り入れて掲載しています。

パソコンを始めた方はまず、民ク・岡山ホームページをアクセスしてご覧下さい。

さらにメール操作（当初はメール受信操作のみでも結構です）に馴れてきたら、民ク・
メーリングリストへご加入をお願いします。
メーリングリストからは会員の慶弔情報や連絡事項を迅速に受け取ることが出来ます。
8月末現在、99名が加入されています。

民ク・岡山ホームページアドレス <http://mink-okayama.web.infoseek.co.jp/>
メーリングリストの加入連絡先 ja4vrv@ba2.so-net.ne.jp
(若槻)

園芸クラブ 桐野さん奮闘記

お世話になります。園芸クラブの桐野です。

今年の夏の暑さは異常でした。この暑い中、平常通り作業行いました。

熱中症寸前です。(歳は考えています(^o^))

- ① 昨年の秋は渇水で大変でした。今年は4トンの水タンクを設置したので、大丈夫です。特に柑橘類は水が必要です。
- ② 園内はスズメバチが沢山飛んでおり、昨年は柿の木に大きな巣を作りました。周りをブンブン飛ばれると作業



どころでは
ありません。

写真のように、ペットボトルの上側に小さな穴を3個あけ、溶液を少し入れておきます。

この溶液は、酒、砂糖、酢を混ぜたもので、このボトルを木につるしておきます。

効果抜群で、1週間で1本のボトルに多い時は30匹
くらいの蜂が入り、しばらく飛んでいます。やがてダウン。支障なく作業ができました。

- ③ 中西さんにいただいた白茄子、順調に育っています。



- ④ 右は現在の柿の生育状況です(9月4日撮影)。今年も、例年通り「柿狩り」を行います。多数のご参加お待ちしております、日時は追って連絡させていただきます。

桐野 展行 (Kirino Nobuyuki)

E-Mail nkiri@hi.enjoy.ne.jp

恒例になった<山歩きの会>秋の例会、昨年は民ク岡山大会の関係で紅葉シーズンには少し早い実施となりましたが、三徳山三仏寺に参拝登山でき楽しい会となりました。

R S K山荘でジンギスカンを食べて1泊し、紅葉見物と温泉につかって帰っては如何でしょうか。下記に計画(案)を作ってみました。皆様のご意見を取り入れて実施したいと思います。幹事吉岡までメールまたは電話でご連絡ください。なお、第1日目小鹿溪谷は昨年2日目に行った所です。今度は紅葉の見頃ではないかと再挑戦します。また2日目は大山の紅葉を見物します。今回はきつい坂登りが少なく、誰でも参加OKです。多数ご参加ください。

実施日 11月10日(金)・11日(土)

行先と行程 ①11月10日(金)

9:00 MC 出発～人形峠～小鹿溪谷～三朝温泉～蒜山山荘(泊)

②11月11日(土)

蒜山山荘出発(8:30)～鏡ヶ成～鍵掛峠～大山寺駐車場―大神神社―
―大山寺(昼食大山そば)―大山寺駐車場～湯原温泉(入浴)～米子道～
～MC 駐車場(18:00)解散

参加費 車代・宿泊費・など実費(6,000円位最後に清算)。

◎車 運転して下さる方お知らせ下さい。参加人数により締切り後お願いいたします。

幹事 吉岡 猛

会員だより

久米田さんより

皆様、お変わりありませんか？

五月に起こしました我家の火災の際は大変ご心配をおかけし、お見舞い、励ましのお言葉を大変大勢の皆様からいただき、うれしい思いと同時に再起に向けての大きな力となりました。自分で積み重ねてきた歴史が強制的に切断され、辛い思いもいたしました。夜寝る時に、朝が来なければいいと思った事もありました。皆様に「励ましの言葉がない・・・」と言われましたが、立場を替えて自分だったらどう言っていたらと考えますと、やはり言葉はみつかりませんでした。皆様の正直な言葉だったと感謝しています。

夜空に高く上った炎の記憶が中々消えず、焼跡に家を建てる事をずいぶん悩みましたが、ようやく元の所に小さな家を建てて帰ることに決心いたしました。愛犬(ゴールデン)マッシュも無事に仮住まいまで行ったのですが、環境の変化について行けず、七月はじめに亡くなりました。我々家族が全員無事であったのと引き換えに亡くなったのかも知れません。

東芝製のノート型パソコンからの出火と私は確信をしているのですが、警察・消防も確認が取れないとの事で出火原因は不明のままです。一応届けはしておこうと思っているのですが、皆様もぜひ100%の信頼を置いてはいけない事を知っておいていただきたいと思います。

家の方は早ければ来年一月末頃、遅れる様であれば今の仮住まいも出なければならぬので大変です。しかし今は体調も良く、精神的にも少し落ち着いて来ましたので、ご安心下さい。昼間は左記の事務所に出ていますのでお近くをお通りの節はお立ち寄り下さい。ありがとうございました。

久米田眞志

事務所・岡山市大供一丁目七一十五 「高谷茂男後援会事務所」
(A. M. 10:00~P. M. 5:00) TEL・227-3400
仮住い・岡山市今二丁目4-1013 TEL・090-7134-0242

また、秋が来た！ 東北への憧憬！

2006、9、7 妻井 令三

昨年、8月末から11月初旬にかけて仙台にいた。もともと、10月10日から4週は岡山に一端帰って自分の決めた作業をこなし、その後再び仙台へ訪問という日程ではあった。

東北は在職時代の東京勤務の頃、仙台から鳴子あたりを2泊程度の旅で見た程度で、縁がある地域ではなかった。それが、この歳になっての長い滞留経験をさせられたのである。

岡山県から「認知症介護指導者養成研修」を受講して欲しい、との要請を受けたのはその夏の初めであった。はじめは冗談だろうと、タカを括ってナマ返事をしていたのが“ウンのツキ”で、認知症介護研究・研修仙台センターなるところへ修行を強いられる羽目とあいなった次第。

研修生活や研究作業も別の意味で新鮮かつ意義深い余生体験であったのだが、忙しい研修の合間の土・日を使つての、平泉・遠野や秋保温泉・蔵王への行脚、仙台ジャズフェスティバルとの遭遇は、東北の懐深い日本の豊かな風情を体感できた余韻が残っている。

帰途、藤沢周平を生んだ庄内平野を目指し、秋色濃い仙山線に揺られて山形に向かい、その翌日最上川に沿って下り庄内平野に至った。この冬、突風による脱線事故で名が出た羽越本線の鶴岡駅を降りるとそこはテレビ・映画の「蝉しぐれ」の舞台でもある。駅前で拾った貸切にしたタクシーの運転手が秀逸で、一任した行程もさることながら、その土地の説明も自分の学びの深さがにじむ一級のガイドでぶりの僥倖に恵まれた。羽黒山に登り、月山・湯殿山を遠望しつつ出羽三山の縁を聞きながら、庄内平野へ下って鶴岡藩藩校の跡に向かったもの。藩民に親しまれた名君の名残を未だに漂わせる街並みや遺構に、人物が育ち、確かな土着の営為があったことを偲ばせていた。酒田の米蔵倉庫群は往時の経済拠点として隆盛を極めたこの地のいわれを鶴岡とは違った佇まいで残していた。

東北の足掛け3ヶ月の中で出会った人々もこの秋風と共に蘇る。東北各県の研修生やセンター職員、そして、遠野のバスの見習いガイドさんや、山形の蕎麦職人修行中の女給さん、こけし作家など行きずりの人々との会話も生き生きと残っている。それらを通して、かつて大阪や東京勤務時代に出会った東北人達の、おっとり構えて余りスタンドプレーを見せないが、どこか意地の据わった生き方を漂わせるものがあり、この風土の中で育った彼らの底流に流れる精神のありようがようやく納得できる気分になっていた。

鳥海山を遠望しながら夕色迫る日本海に沿って新潟を経ての帰途についた去年のことが、今年の秋風の到来と共に再び蘇ってくる。

ただ、心残りは豊かな温泉郡を聞きながら、モダンな建物の秋保温泉だけの湯浴みに終わり、鄙びた東北の湯治宿に踏み入れなかった悔いがある。

いささかの日頃の忙事を整理して、東北の行脚をして見たいと思う昨今でもある。

岡山市民会館の運営管理者に！？

RSKOB 広坂武昌

全くお手伝いのつもりで手を出したことが、成り行きで市民会館の運営を中心的にやることになった・・・という自分でも意外の展開です。

ともあれ、無事平穏にすべり出さねば、と久しぶりに緊張しました。そのかわり、引退後定型化していた暮らしのパターンは総崩れ。ゴルフも狂言も大学講座も畑もお預けです。

ま、しばらくは(安定運営に入るまで)このまま市民会館のお手伝いをする積もりです。

民クのパソコン研究会で木村大先輩にホームページ作成の手ほどきを受けたのがきっかけで最も苦手としていたパソコンに挑戦することになり、今年の3月、ホームページを立ち上げるに至りました。今では、カメラをさげて取材に飛び歩く毎日が続いています。

猛暑に終わった先月は12回取材に出ました。取材の翌日は制作に当てることにしていますので、8月は24日間ホームページを相手に過ごしたことになります。

車の運転が出来ませんから、取材はすべて公共交通機関を利用します。おかげでよく歩くようになりました。1回取材に出ると10キロ近く歩いている感じです。

歩きますと体力増強にもつながりますが、それよりも今まで気付かなかったいろいろなことが見えてくるのが楽しみです。古代吉備と江戸時代の岡山県を主なターゲットにしていますので、車のなかった当時の人たちの目線と気持ちをおもんばかりながら、歩いています。

8月の取材で最も印象に残ったのは吉永町和意谷の池田家の墓所でした。故・亀山孝一代議士から「あんたも岡山県人なら一度は和意谷へ行ってみなさい」と言われた40数年前の言葉を思い出して足を運びました。和意谷からJR吉永駅まで、駆け出しの記者であった頃のことなどを思いながら1時間半ほどかけて歩きました。

ホームページの作成についてはパソコン研究会のメンバーだけでなく多くのミンク会員の皆様から助言やご指導を頂きました。

毎日の生活と深いかわりを持つようになったホームページはまさに民クから頂いた宝物だと思っています。一步一步、しっかりと歩いて、この宝物を育てて生きたいと思っています。

まだ材料集めの段階でまとまりはありませんが、民クのホームページに連動していますのでよろしかったら一度覗いてみて下さい。

放水会の記録

2006年5月度～2006年8月度を掲載

ホームページTOPより、放水会をクリックしてご覧下さい。

編集後記

事務局をお引き受けして初めての情報誌の発行。結局皆様の原稿をべた打ちしただけに終わりましたが、できるだけ多くの方々に登場願いたいと思って、「放水会の記録」なども載せました。若槻さん作のホームページのコピーです。ネットでつながっておられない皆様へは、ぜひお知らせしたいことが多かったものですから。

さすがに元業界？の皆様、多くの原稿を寄せていただきありがとうございました。皆様、現職のころよりも仕事？の幅が広がり、ますますご活躍のご様子が知れて、後輩ながらも嬉しいばかりです。前任の田淵さんには及ばないものの、年2回のこのような冊子の発行は続けていきたいと思っておりますので、皆様これからもよろしくおねがいたします。

この情報誌、会員の皆様への郵送作業で、安田了三さんなどのご協力を得て事なきを得ました。ありがとうございました。(2006, 9 杉原)